

# 図書館を地域と学校をつなぐ場に

## 角館高校図書館から

～地域の一般の皆様にもご利用いただけます～

角館高校の図書館は、「地域と学校をつなぐ場」として、平日の9:00～16:30まで一般の方々もご利用いただけるようになりました。ぜひお気軽に足を運んでくださいますようお願い致します。

地域の方々に学校へ関心を持ち知っていただく一助とするとともに、地域の方々との交流により、生徒達の読書活動に広がり深さを持たせることを目指しています。授業中でもカウンターで検索をして本をお貸しすることができます。

現在、本校の蔵書に加え、県立図書館からも「わたしたちはどう生きるか」「ことばを知る」「郷土を知る」というテーマで蔵書をたくさんお借りして展示しています。絵本など子どもさんも楽しめる本もありますし、雑誌や新聞なども充実しています。ぜひ手にとってご覧ください。生徒達の手でコスモスやススキなど秋の花々で飾りつけもしてあり、きっと心安らぐと思います。

なお、「みんなの登校日」である11月29日(木)には、地域の方々と本校生徒との世代を超えた本を通しての交流会を計画中です。

後日ホームページ「角館高校Topics」(<http://kakukou.xsrv.jp/zen/>)で詳細をご案内致しますが、こちらへのご参加もお待ちしております。



生徒達が本の紹介をかわいい付箋に書いて貼っています。



新刊コーナー、話題の本が並んでいます。

## われら角高 ページセー

角館高校定時制の旬な情報をお伝えしている「われら角高ページセー」今回のテーマは「仕事・働く意義」です。3修制(定時制でも3年で卒業することが可能!)になり昔と較べれば登校時間も早くなった定時制ですが、仕事を持っている生徒が何人もいます。学業と仕事の両立をする彼らも大変ですが、事業主さんにも大変なご迷惑をおかしています。(マナー指導や勤務時間の調整などをしていただいております。この場を借りて御礼申し上げます)そこで今回は仕事をしながら学校に通っている2人の話を紹介します。その中から少しでも彼らの成長ぶりを感じ取っていただけたら幸いです。地域の皆様の応援、本当にありがとうございます。

佐々木明日香(3年生)さんは仙北市内のコンビニエンスストアで働いています。入学と同時に始めた仕事も今年で3年目になります。「はじめの頃は何か何だか分からずにとっても大変でした」と語る彼女は。はたから見ていると簡単そうに見えるコンビニの仕事ですが、レジ打ちや品出しから店内の清掃、それにお客様に対する笑顔の対応など様々な苦労があるそうです。



「働き始めたころは給料をもらうためのバイトでしたが、今はちょっと違うかな」と言う明日香さん。その理由を尋ねたら「働くことは辛いことだとは知ってました。初めの頃はお金のために働いているんだっていう意識があったから、ちょっとくらの疲れとか辛さもガマンできた。でも仕事を続けていれば楽しいことも辛いことも毎日のように繰り返されます。だからお金とかじゃなくて、自分自身が何かの役にたっているって実感がうれしい。新しい充実感を得られると心にも余裕がもてます」

学校の部活動でも中心選手として活躍した彼女は、引退したあと先輩として後輩達に指導をしながら頑張っています。

「いらっしやいませ、何名様ですか」たったこれだけの言葉でもはじめの頃は言いにくいものでした。と語るのはレストランで働く煙山香織(3年)さんです。

実は人見知りで、自分のことをサービス業には不向きな性格だと言う彼女ですが、自分が接客業に合っているかどうか考える間もなく働き始めたそうです。定時制は夜の学校だから、昼間は働く時間がある。そう思った彼女は入学後、真っ先に仕事を探したそうです。最近は仕事が長続きせずにすぐに辞めてしまう若者が多いのですが、彼女はどのようにして不向きな職種でも長続きしているのでしょうか。「たしかに嫌なこともあります。よく考えたら嬉しいこともたくさんあるんです。例えばお客様からおいしいねって言われたりすると、やっぱり元気が出てきます」働き始めて今年で3年目。

今では自分でも分かるくらいに責任感が強くなったという彼女。収入の一部を家計に回したりしながらも、卒業後は進学を目指して今日も通っています。



## ページセーの行事

- ★全県生活体験発表大会…10月18日
- ★みんなの登校日……………10月24日～26日
- ★芸術鑑賞会……………11月2日
- ★学校説明会……………11月7日

